

# 防災推進国民会議の活動報告

---

令和 4 年12月14日  
第 8 回防災推進国民会議



国民の防災意識向上のため、防災に関する活動を実践する多様な団体・機関が一堂に集う「防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)2022」を実施。現地参加とオンライン参加を組合せたハイブリッド形式で開催。

## 大会概要・内閣府主催セッション

**テーマ**：未来につなぐ災害の経験と教訓  
～忘れない、伝える、活かす、備える～

**日時**：2022年10月22日(土)・23日(日)

**開催地**：兵庫県 神戸市 HAT神戸を中心とするエリア

**主催**：防災推進国民大会2022実行委員会  
(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)

**実績**：出展数 **延べ319団体**、**282催事** (セッション:41、ワークショップ:31、  
プレゼン:104、ポスターセッション:46、屋外展示:31、ステージ発表:20、その他:9)

現地来場者数 **約12,000人**、オンライン視聴数 **約11,000回**

**併催**：「ALL HATひょうご防災フェスタ2022」(人と防災未来センターなど)  
「防災×テクノロジー-官民連携プラットフォーム」マッチングセミナー(内閣府)  
「あなたは、大切な人を救えますか？」(日赤兵庫支部)  
「令和4年度災害廃棄物対策推進シンポジウム」(環境省)



谷大臣開会挨拶  
(オープニング)



星野副大臣閉会挨拶  
(クロージング)



国連防災機関  
水鳥氏(オンライン)

**ハイレベルセッション**  
「大災害とわたし  
～トップリーダーがつなぐ  
災害の経験と教訓～」



時事通信  
中川氏

兵庫県立大  
阪本教授

内閣府  
上村審議員



オープニングディスカッション  
「未来につなぐ教訓と防災教育」



コープこうべ 中川氏

神戸市 久元市長

兵庫県 齋藤知事

## 他のプログラム例

### ○ 現地共同企画 伝承セッション2022

「100年後の共感へ バズる災害伝承をさぐろう」  
をテーマにパネリストが討議。  
※ぼうさいこくたいを盛り上げるために、  
地元の防災の担い手を中心となり立ち上げた  
“情報共有会議”によって誕生した共同企画。



### ○ 日本学術会議IRDR分科会主催セッション

南海トラフ地震等の将来の国難級災害を  
乗り越えるためのレジリエンス確保の  
あり方について討議。



### ○ ステージ発表

出展団体の取組をステージで15分間発表。  
今回初の試み。

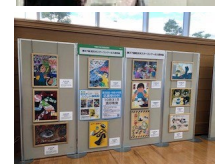
### ○ ワークショップ

楽しく防災を学べるカードゲームや、  
スタンプラリーなど来場者参加型の  
イベントを各団体が主催。



### ○ プレゼンテーション・

ポスターセッション  
各団体等の活動をブース  
やパネルで紹介。



11月5日の「津波防災の日」にスペシャルイベントを開催。様々な主体や視点から津波防災に取り組む方々の活動を発信することで、国民の津波防災意識の向上・定着を図った。

## 開催概要

- 【主催】** 内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議
- 【日時】** 令和4年11月5日（土） 13:00～15:00
- 【会場】** メイン 東京都千代田区 BASE Q（東京ミッドタウン日比谷6階）  
サブ 北海道根室市及び和歌山県那智勝浦町
- 【開催形式】** 現地とオンライン（YouTube）のハイブリッド開催  
※第2部ではメイン会場とサブ会場をテレビ会議で結び、ディスカッション

## 【プログラム】

- 開会挨拶** 谷 公一（内閣府特命担当大臣（防災））
- 第1部 基調講演**  
「津波防災を進化させる—津波避難訓練等でタブーへも挑戦—」  
講演者 今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所 所長）
- 第2部 パネルディスカッション**  
「各地の津波防災に関する取組の紹介と意見交換」  
ファシリテーター 阪本 真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）

11月5日は  
津波防災の日  
世界津波の日

「津波防災の日」スペシャルイベント  
2022.11.5 13:00-15:00

開催概要  
当日のプログラム  
開会挨拶  
基調講演  
パネルディスカッション



開会挨拶（谷防災担当大臣）



第1部 基調講演  
（今村 文彦 所長）



第2部 取組の紹介と意見交換  
（メイン会場）



（テレビ会議）

津波防災特設サイト：<https://tsunamibousai.jp/>

- 第1部 基調講演（講演者：今村 文彦 所長）**  
東日本大震災を振り返って地震等が発生してから津波から避難するまでのプロセス、自動車での津波避難についての分析、スマホアプリなど津波避難のための取組事例について講演。
- 第2部 パネルディスカッション「各地の津波防災に関する取組の紹介と意見交換」**  
サブ会場（北海道根室市及び和歌山県那智勝浦町）がそれぞれの取組について紹介し、その後、それら取組への意見交換を行った。  
ファシリテーター：阪本 真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）  
登壇者：今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所所長）  
佐藤 健一（アジア航測株式会社社会インフラマネジメント事業部地域創生部技師長）  
村上 威夫（内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当））





○TEAM防災日本は、全国各地で活躍する多様な防災の担い手を育成・応援するための人材ネットワーク。防災の担い手に有用な情報をポータルサイト等で紹介するほか、オンラインも活用して参加者の交流・情報交換を行っている。

## 【ポータルサイト】



<https://bosaijapan.jp/>

## 【メールマガジン・SNS】

- 全国の防災の担い手に向けて、有益な情報を定期的にお知らせするメールマガジンを発行（登録者数：約1,200人）。
- SNS（Facebook、Twitter）でも情報発信。

## 【参加者同士の交流・情報交換】

ぼうさいこくたい2022の開催に合わせて、「防災交流カフェ」をオープン。TEAM防災日本のアドバイザー等がホスト役となり、全国の防災の担い手同士のつながりを促進。（令和4年10月22日・23日（兵庫県立大学会議室））

### <10月22日>

- オープニングの見どころ解説
- ビデオメッセージ
- 会場を生中継
- プレゼンテーション「API連携について」
- 本音トーク 「耐震化はなぜ進まないのか」



### <10月23日>

- ジェンダーお茶っこ（ゲストを招いてのトーク）
- メディアと地域課題 「災害報道で、どう地域の防災・減災課題を解決できるのか？」
- 南海トラフセッションpart2
- 河田先生、室崎先生に聞く ぼうさいこくたいの振り返り



この他、さまざまなテーマの「学習交流会」をオンラインで開催。

- 伊豆市土肥地区の津波防災まちづくりに学ぶ  
令和4年6月24日：ナビゲーター：加藤孝明（東京大学教授 / TEAM防災日本 アドバイザー）
- SDGs・ジェンダー視点を取り入れた中学生防災教育の取り組み  
令和4年8月1日：話題提供：小山内世喜子（（一社）男女共同参画地域みらいねっと 代表理事）

